

# いっふく

3

2025 No.289

ひととひと ふれあい、つながる



特集

京の食文化「すぐき」市民フォーラム開催  
登録無形民俗文化財登録へ。すぐきの文化的価値を市民と共有



# 開催 と共有

1月18日、当JAは京都を代表する漬物の一つ「すぐき」の登録無形民俗文化財登録を目指した市民フォーラムを京都府立京都学・歴史館大ホールで開催しました。  
学生や主婦など400人が会場を訪れ、すぐき生産の現状と課題の報告や、研究者と生産者によるパネルディスカッションで、京の食文化を支えるすぐきの文化的価値を共有しました。

「すぐき」は、京都の三大漬物の一つとして京の食文化を支えてきました。近年、生産者の高齢化に伴う作業の効率化、労力の軽減や、都市化による作業スペースの縮小等のため、「すぐき」特有の手法である「天秤押し」がプレス機に置き換わり、「天秤押し」を行う農家も数少なくなり、上賀茂の冬の風物詩として親しまれてきたお馴染みの光景が失われつつあります。

当JAではその伝統を継承するための必要な対策として、文化庁の「令和6年度『食文化ストーリー』創出・発信モデル事業」を活用し、国の登録無形民俗文化財への登録を目指しています。

フォーラムは、すぐきの文化的価値について考え、京の食文化を支えてきた、地域の誇りでもある「すぐき」の登録無形民俗文化財への登録を願うとともに、古くから受け継がれてきた伝統的な技術を後世に受け継ぎ、さらには生産振興にもつなげるため開催することとしました。

## 文化財と食文化



文化庁文化財調査官(食文化部門)  
大石 和男さん

文化財の体系や全国各地で登録を受けている登録無形文化財や登録無形民俗文化財の事例が紹介されました。

## すぐき漬けの未来

～食材としての活用とグローバル展開の可能性～



すぐき漬け 森益/すぐき研究者  
森田 早映子さん

すぐき農家の4代目として生まれ、現在は一般企業で勤務する森田さんから、すぐきに含まれるラブレ菌の効果をはじめ、すぐきに関する研究結果について発表されました。

また、すぐきを使ったオリジナルレシピも紹介され、すぐきを後世に受け継ぐための可能性について言及されました。

## すぐき生産の現状と課題

～すぐき農家アンケート調査結果より～



JA京都市営農経済部  
(株)シー・ディー・アイ

事前に実施したすぐき生産者46人のアンケート調査の結果を報告しました。すぐき生産の現状や課題などが明らかになりました。

### 登録無形民俗文化財の登録に向けた取組み

### 講演・報告

講演では、文化庁や専門家から登録無形民俗文化財やすぐきの持つ可能性について発表されました。事前にJAがすぐき農家を対象に実施したアンケート調査結果を報告し、すぐき生産の現状や課題などを明らかにしました。

### 特集

## 京の食文化「すぐき」 市民フォーラム開催

登録無形民俗文化財登録へ。  
すぐきの文化的価値を市民と共有

2・3

京のかわら版

4

女性部だより

5

青壮年部だより

6

信用共済部からのお知らせ  
レクリエーション農園収穫祭開催

7

各支店が独自に展開する  
「一支店一企画」

8

令和6年度農産物品評会  
市長特別賞表彰式開催  
～京都市長賞・京文化担い手奨励賞受賞者を表彰～

9

営農経済部からのお知らせ  
クロルピクリン剤の購入にはチェックシートの  
記入・提出が求められます!

10

資産管理課からのお知らせ  
JA相続セミナー開催  
2024年度確定申告の受付

11

総務企画部からのお知らせ  
京都ハンナリーズと京都光華女子大学とコラボメニュー開発  
光華イキイキ朝市開催

12

京都市消防局からのお知らせ  
たき火火災にご注意を

13

職員つうしん  
農機をレンタルする際のお願い  
3・4月行事予定

14

ちよっといっぷく  
クロスワードパズル/今月の星占い

15

京のこんだて  
京都光華女子大学とのコラボ企画 第9弾!  
金時人蔘とさつまいものサラダ

裏表紙

### 表紙写真

TAC活動記録⑥  
「筍立毛共進会の審査」  
撮影場所:大枝塚原(西京区)



# 京の食文化「すぐき」市民フォーラム

## 登録無形民俗文化財登録へ。すぐきの文化的価値を市民



【コーディネーター】  
ふじのくに地球環境史ミュージアム  
佐藤 洋一郎 館長



【パネリスト】  
京都産業大学文化学部京都文化学科 村上 忠喜 教授  
京都府立大学大学院生命環境科学研究所 中村 貴子 准教授  
京都市農業協同組合上賀茂支部 藤井 健 支部長  
京の上賀茂すぐき倶楽部 渡邊 源 会長  
すぐき漬け 森益 森田 早映子 さん

### パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、すぐきの可能性や魅力を有識者から語っていただきました。また、来場者アンケートの質問にも回答していただきました。

### これからの「すぐき」について

京野菜がほとんど京都から外に出ていく中で、種子の保存が難しくなっています。すぐきだけが頑なに上賀茂の地で伝承されていることに疑問を感じました。民俗・文化的な側面から見れば、京都が歴史都市であることが色濃く反映されているのではないのでしょうか。すぐきは、それほど貴重な農産物であることの裏付けにもなります。ただ、後継者の問題があることから、今後は上賀茂にとどまらず、京都市全体ですぐきを守るための運動が生まれてほしいのではと感じました。

### 「すぐき」をもっと知ってもらうためには…

漬け方次第で味が変わるのが、すぐきの魅力だと考えています。食に関していえば、昔と違って、現代社会では作る人と食べる人が完全に分かれてしまっています。すぐきオーナー制のような仕組みを作り、生産者と消費者が一緒にすぐきを作る場を設けることで、消費者にとってもすぐきを作る難しさを感じられず、生産者にとっても消費者の斬新なアイデアがすぐきの新たな魅力発見につながるかもしれません。

日本酒が酒蔵によって味が異なるのと同じように、すぐきも作り手によって味が異なります。それが魅力であります。家ごとに味の違いが分かるようにラベルをデザインすることで、消費拡大にもつながると考えます。

### 生産者が語る「これからの「すぐき」

上賀茂は市内を見渡しても後継者が多い地域です。生産者がやる気を出してすぐき作りに励むためには、地域の皆さまのすぐきに対する理解とサポートが重要になってきます。そのためにも、今回の登録無形民俗文化財の登録に向けて応援し続けていただければ幸いです。

すぐき作りは、生産者が種まきから加工販売までを一貫して行います。室に入れ、乳酸発酵を促して作るなど、他の漬物にはない工程があります。それがすぐきの一番の魅力だと感じています。先祖から代々受け継がれてきた伝統を守るだけでなく、今後は子育て世代や学生といった若い方にもすぐきを食べてもらえるように、魅力を発信していきたいです。



渡邊 さん



藤井 さん



森田 さん



中村 准教授

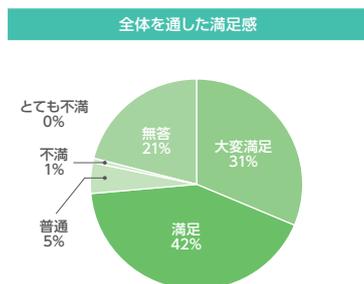
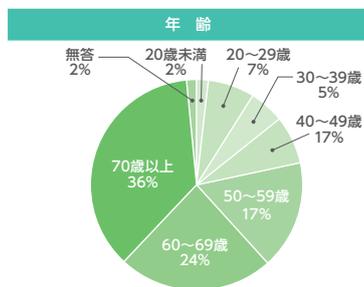
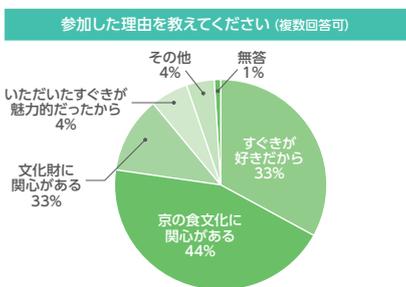


村上 教授

### 来場者アンケートを行いました

フォーラム終了後にアンケートを実施しました。(回答数243) フォーラムについては、「大変満足」と「満足」が7割を超えており、高い評価を受けました。参加理由についても、「京の食文化」や「文化財」に関心がある方が過半数を占めており、すぐきの文化的価値を考える良い機会になりました。

一方で課題も残されています。「すぐき」の認知度は高いものの、フォーラム出席者の過半数以上が60歳以上で、20代は10%に満たない結果となりました。また、すぐきを文化財として守っていくために重要なことの1つに、消費者への普及啓発が挙げられました。後世にすぐきの価値を受け継ごうとする、学生や子育て世代といった若年層へのアプローチが必要だということが伺えます。



フォーラムでは「京都上賀茂特産「すぐき」ができるまで」を放映しました。



動画は現在JA京都市公式YouTubeで配信していますので、是非ご覧ください！

# 京のかわら版

JA京都市管内の出来事やイベントなどをお知らせいたします。

## 有害鳥獣の被害軽減に向けたイノシシ用の防除柵を設置

深草支部は有害鳥獣による農作物への被害軽減に向けてイノシシ用の防除柵を設置しました。

同支部管内は竹藪が広がっており、筍生産者がたくさんいらっしゃいます。その一方でイノシシによる被害が後を絶たず、支部全体の問題となっていました。そこで、今回京都市と連携し有害鳥獣防除施設設置補助事業を活用し、イノシシ防除柵を設置することになりました。

設置作業は2024年11月下旬から1月末の計6日間で行われ、組合員だけでなく、竹林の再生などの保全活動に取り組む特定非営利活動法人の「京都・深草ふれあい隊 竹と緑」、伏見支店の職員も加わり、のべ170人になりました。組合員の辻宗和さんは「多くの組合員や、ボランティアの方、農協職員のお陰で無事に柵を設置することが出来た」と感謝を述べていました。

同支店の森下講平支店長は「生産者の高齢化や農地の減少が進んでいるが、深草支部の組合員同士のつながりが強いので、今後もJAの総合事業の強みを生かして、あらゆる角度から生産者をサポートしていきたい」と話しました。



▲設置作業の様子。柵は約1キロにわたって設置されました

## 畑菜試食即売会を開催

～「からし和え」と「白和え」が振る舞われる～

2月2日、伏見区の「じねんと市場」で畑菜の試食販売会を開きました。京都では初午の日に畑菜の辛子和えを食べる風習があります。試食会はその年最初に訪れる初午の日の直前に開催し、地元の方に畑菜の魅力を伝えています。

畑菜の特設ブースが店内に設けられ、畑菜の販売と久我支部女性部が手作りした「畑菜のからし和え」と「畑菜の白和え」が振る舞われました。試食した方は「はじめて食べたが、食べやすく美味しかった」と感想を述べていました。



▲店内に特設ブースが設けられ、畑菜や畑菜を使ったメニューが用意されました

## JA京都市のファミマルシェ開催

～ファミリーマート洛西新林本通店で地元野菜を販売～

2024年12月20日と2025年1月17日にファミリーマート洛西新林本通店で「JA京都市のファミマルシェ」を開催しました。同店の敷地内に移動販売車を設置し、地元農産物を販売しました。

マルシェは当JAのほかJA京都中央とJA全農京都が交代で開催しています。2回のマルシェともに西ブロックの生産者(松尾・梅津・桂・川岡・大枝)にご協力いただき、筍のピン詰めや大根や白菜などの農産物を販売しました。購入者からは「新鮮な野菜を買うことができうれしい」といった声がありました。



▲ファミリーマートでマルシェ開催

# 女性部だより



## バレンタインお菓子作り教室

### ～本格的なスイーツづくりに挑戦～

2月7日、女性部はバレンタイン特別企画として本格的なスイーツづくり教室を開きました。講師は青壮年部地区役員の山口泰さん（松尾）が務め、25人が参加しました。

今回のメニューは「生チョコビター・ミルク」と「ロールショコラ」の2品で、部員たちは、元パティシエとしての経歴を持つ山口さんからスポンジ生地混ぜ方や、材料を混ぜ合わせる際の温度管理等の本格的なスイーツづくりの技術を学びました。

スイーツが完成すると、部員たちは満面の笑みを浮かべていました。部員は「実践しやすいレシピで勉強になった」「元パティシエの山口さんの教え方が非常に丁寧で分かりやすかった」などの声がありました。

鈴木綾女性部長は「青壮年部・講師のご協力により、本日のお菓子作り教室を盛会のうちに終わることができました。引き続き青壮年部との連携を一層深め、青壮年部・女性部活動の活性化につなげていきたい」と振り返りました。



細かい作業は  
大型モニターに映して説明



山口さんの  
周りを囲み、  
説明を聞く  
女性部員たち



完成品を手に  
記念撮影

## 椿大神社への日帰り研修旅行

1月21日、大枝支部女性部は三重県の椿大神社への日帰り研修旅行を実施し、女性部員14人が参加しました。

椿大神社は、開運みちびきの神様として知られる猿田彦大神の本宮があり、全国から参拝者が訪れるほど有名なパワースポットです。部員たちは無病息災や商売繁盛などを祈願しました。参拝後は、イルミネーションで有名な「なばなの里」を見学するなど、部員同士の親睦を深めました。

同女性部の森本静子部長は「由緒ある神社を訪れることができて良かった。女性部の親睦もさらに深まった」と満足気に旅を振り返っていました。



椿大神社での  
参拝など、旅を  
満喫した部員たち



なばなの里も見学しました

## 恵方巻づくり教室

2月1日、修学院支部女性部は節分に合わせて、「恵方巻づくり」を地元の七町会館で開き、部員16人が参加しました。

部員らは、同女性部役員が事前に仕込んだ米、ホウレンソウ、レタスとAコープ商品である「ほめられ酢」を使って、のりに酢飯やきゅうり、しいたけなど具材をのせて恵方巻を完成させました。

同女性部の中島映子部長は「いま、各家庭で恵方巻などをつくらなくなった。初めての試みで不安だったがみんなでぜひやってみたい!」と思い企画した。みなさんに喜んでもらいやりがいがあった。今後も様々な企画をしていきたい」と初開催となった活動を振り返りました。

参加した部員は「初めて作ったが大変いいものができ、よかった。準備にかなりの時間がかかったので、事前に仕込んでくれた役員さんに感謝したい!」と話しました。



完成した  
恵方巻き

入念な準備のもと行われた  
恵方巻づくり教室

# 青壮年部だより

## JA東京中央<sup>きめた</sup>砧地区青壮年部 視察受け入れ ～京野菜の魅力を発信～

1月16日、青壮年部は、JA東京中央砧地区青壮年部30人を視察研修として受け入れ、川岡支部の清水洋人さんの圃場を訪れました。

JA東京中央は、世田谷区、杉並区、中野区を管轄する都市型JA。砧地区は世田谷区内にある多摩川からほど近く、野菜自販機での直売やJAの直売所への出荷がメインで市場出荷はごくわずかです。当JAと似た農業形態であることから、今回の視察が実現しました。

清水さんは京野菜の代表格である「九条ねぎ」の栽培方法や市内の出荷・販売体系について説明しました。また、住宅地で野菜作りなど都市農業独特の苦労などの話をすると、砧地区青壮年部員からは大きくうなずく瞬間がありました。

圃場視察を終えて砧地区青壮年部員からは「九条ねぎは首都圏で栽培されている『白ねぎ』とは栽培方法が大きく変わっていて関心を持っていた。栽培されている現場を見るのは初めてだ。」と振り返っていました。

小野勝也部長は「同じ都市農業を営む盟友として販売体系や苦労などが非常に似ている。今後も多くの交流を重ね、農業についての価値観や知識の幅を広げ、農業振興を図っていきたい」と話していました。



九条ねぎの栽培圃場で栽培方法などを伝える清水さん(左)

## 筍立毛共進会実施 どの圃場も審査員から高い評価を受ける

2月14日に大枝支部青壮年部が、2月17日に松尾支部青壮年部と川岡支部青壮年部が合同で筍立毛共進会を開催しました。

共進会は生産者の栽培技術の向上を目指すことを目的に毎年開催しています。当JA営農経済部職員と京都府と京都市の職員が審査員を務め、竹の様子、間隔、土入れ具合、栽培の工夫などの出来映えを審査しました。審査員は「本年度はシナチク

ノメイガの被害で圃場の状態が気になっていた。だが、どの圃場も丁寧に管理されていて、審査も甲乙つけがなかった」と話していました。すべての審査を終えて、最も高い評価を受けた方には京都市長賞が贈られ、本年度は大枝支部の山口正孝さんが選ばれました。



丁寧に管理された筍の圃場



営農経済部職員のほか、京都府と京都市の職員が審査を務める

# レクリエーション農園 収穫祭開催

2024  
12/21

地域住民への農業理解促進活動

12月21日、年金受給者向けに募集した「レクリエーション農園」利用者を対象に収穫祭を開催しました。農園には、収穫の喜びを分かち合える利用者たちの笑顔であふれ、「市民」が農業を身近に味わえる場となっています。



9月から育ててきた野菜を収穫し、参加者はこの笑顔



来場者には厳しい寒さから身体を温めてもらおうと、大根炊きを提供しました

## 「野菜を作り、育てて、食べる」まで一連の流れを体験できるレクリエーション農園

9月中旬のオリエンテーションから3ヶ月が経ち、収穫祭には、19区画47人に参加いただきました。参加者はJA職員が栽培した金時人参等のおせち野菜の収穫やミニ葉牡丹の寄植え、毎年恒例の「大根炊き」で冷えた身体を温めていました。

レクリエーション農園はJAが一般利用者に「農」を提供する取り組みです。「野菜を作り、育てて、食べる」まで一連の流れを体験でき、利用者も「土を触ることで無心になれた。圃場を訪れるたびに野菜の成長を感じることができ、やればやるほど楽しかった」と振り返っていました。

## JAファンを創る事業モデルに…

レクリエーション農園は今年で3年目を迎えました。信用共済部の福本幸生部長は「農地が少ない都市部だからこそ、地域住民の農業に対する潜在的な需要が見込める。第3号組合員からJAファンを創出するモデルの1つとして、活動で得たノウハウを活かした事業展開を進めていきたい」と話しました。



レクリエーション農園は3年目を迎え、市民に「農」に触れる場を提供しています

各支店が独自に展開する /



# 「一支店一企画」



当JAでは各支店が独自で取り組む「一支店一企画」を展開し、組合員と地域住民との結びつきを力強いものにして、「地域から必要とされるJA」を目指しています。今回は1月から2月にかけて実施された取り組みをご紹介します。

## 「西京ブロックマルシェwith POP UP! 西京」開催 ～西京区役所とコラボし、地元農産物をPR!～

西ブロック  
5支部

1月22日、西ブロック5支部（松尾・梅津・桂・川岡・大枝）は、西京区役所新庁舎で「西京ブロックマルシェwith POP UP! 西京」を開催しました。

マルシェは西京区役所が毎月開催しているイベント「POP UP! 西京」とコラボし、JA京都市版GAP承認者11人から大根、白菜、コカブなど計347点を出品いただき、同JAの移動販売車に積んで販売しました。

購入者からは、「野菜の高騰が続いているので、新鮮な野菜をこの価格で購入できるのは嬉しい」といった声がありました。7月に西京支店のオープン控えており、今後も行政と連携し消費者に喜んでいただけるイベントを予定しています。



昨年2月に新設された  
西京区役所でのマルシェ開催



会場には地元住民が中心に訪れ、  
地元農産物をPRする機会になりました



直売所などをPOPにまとめて  
生産者の認知拡大を図りました

## あつまれ!! 醍醐ええもんマルシェ開催 4年目を終えて、 今や組合員と地域住民は顔見知り

醍醐  
支店

1月23日、醍醐支店は月に1度のマルシェである「あつまれ!! 醍醐ええもんマルシェ」を同支店で開催しました。

今年度最後のマルシェには、醍醐支部の組合員から地元野菜を出品いただき、販売しました。また、支店近くにある「京料理鳥羽甚」にもご協力いただき、手作り弁当を販売しました。来店客からは「新鮮な地元野菜を買えるので毎月楽しみにしている」と声がありました。

マルシェは今年度で4年目を迎えました。マルシェ出品者からは次年度以降の開催に向けて意欲的であり、「地元の消費者と対面販売できる良い機会であり、今後も喜ばれる野菜を作っていきたい」と語っていただきました。



今年度最後となったマルシェ。マルシェも4年目となり、  
今や顔見知りも増えており、組合員と地域住民とのつながりができています

## 手形足形アート開催

山科北部  
支店

1月24日、山科北部支店は「手形足形アート」を同支店で開催しました。地域の子育て世代との交流を通じたJAとの接点作りを目的に、生後2ヶ月から小学校低学年の地域の子ども達に参加いただきました。

参加した子どもたちは、手や足に水彩絵の具を塗って、事前に用意した台紙に手形や足形をつけていました。参加した保護者からは「赤ちゃんの時だけでなく何歳でも良い記念となった」との声がありました。



用意された台紙に手形をつける子どもたち

# 令和6年度農産物品評会市長特別賞表彰式開催

～京都市長賞・京文化担い手奨励賞受賞者を表彰～

2月6日、京都市は令和6年度の農産物品評会市長特別賞表彰式を京都市役所本庁で開きました。表彰式では12名の生産者に、松井孝治京都市長から表彰状と記念品が贈呈されました。大橋組合長も同席し、受賞者の功績を称えました。

## 表彰対象について

当JA管内で行われた対象の品評会で、「京都市長賞」もしくは「京文化担い手奨励賞」を受賞した方となっています。

表彰対象の品評会は、夏季農産物品評会、秋季農産物品評会、京都市北区農林産物共進会、京都市山科区農業祭農産物共進会、京都市左京区農産物共進会です。

なお、「京文化担い手奨励賞」は、45歳以下または就農10年以内の農業者が対象となっています。



## 受賞された皆さま ※は当日欠席

京都市長賞		
品評会名	品物	受賞者
京都市北区農林産物共進会	たまねぎ	中村 仁※
		中村 和子※
山科区農業祭農産物共進会	トマト	渡邊 幸浩 <sup>①</sup>
		渡邊 裕子※
京都市農業協同組合 夏季農産物品評会	賀茂なす	岸本 亮則 <sup>②</sup>
		岸本 菜穂子※
京都市農業協同組合 秋季農産物品評会	はくさい	奥田 猛 <sup>③</sup>
		奥田 京美
京都市左京区農産物共進会	ほうれんそう	中島 秀典 <sup>④</sup> 中島 央子

京文化担い手奨励賞		
品評会名	品物	受賞者
京都市北区農林産物共進会	トマト	安井 圭介 <sup>⑤</sup>
		安井 優衣
京都市農業協同組合 夏季農産物品評会	賀茂なす	池田 大助※
京都市農業協同組合 秋季農産物品評会	さといも	石田 尚子 <sup>⑥</sup>
		石田 義之
京都市左京区農産物共進会	サボテン	駒井 寛之 <sup>⑦</sup>
		駒井 珠美

受賞者は松井市長と記念撮影



## 松井市長のコメント

市長就任してから市民対話に取り組んでいます。先月農林業の関係者と対話する機会をいただきました。そこで、京都の農産物の重要性や生産者の皆さまのご苦労というのを伺ったところあります。

経済発展は、すぐ大事だと思います。ただ、単に大きな工場があればいいということはありません。京都には、清らかな川から流れる水、そして豊かな地下を流れる水盤・水脈、そういった自然を大切にしながら経済を両立させることが、先祖から引き継がれてきた京都を次世代につなぐために一番大切なことだと思います。

そして、自然の恵みから豊かな農産物を育て上げていただき、京都の食文化の基礎を築かれているのは、生産者皆さまのご努力とご尽力の賜物であると思います。

今回の受賞者はまさに匠。引き続き、その技術を磨いていただき、豊かな農産物を育み、京都の食文化と豊かな京都の文化を築いていただけるよう、今後の皆さまの活躍を祈念申し上げましてお祝いのことばとさせていただきます。



京都市 市長  
松井 孝治 様

## 寺林審査長のコメント

今年度も品評会の審査長を務めさせていただきましたが、各地の品評会で素晴らしい農産物と出会うことができ、改めて農家さんの栽培技術の高さを感じました。

審査では見た目だけでなく、消費者として野菜を見たときに買って食べたいと思えるような野菜を評価させていただきました。

ただ、今年度も野菜作りには大変厳しい環境となりました。気象庁によれば、今年の4月から10月の7ヶ月間の平均気温が30度を超えていました。そんな中でも、今回特別賞に選ばれた方は素晴らしい栽培技術をお持ちであることだと思います。改めて生産者に敬意を表したいと思います。

私自身も品評会の審査員を務めて20年以上になります。引き続き、丁寧な審査を心がけていきたいと思っています。



京都府立大学 名誉教授  
寺林 敏 様





## JA相続セミナー開催

### ● 相続の基本を学び、将来に備える!

資産管理課では、組合員の皆さまに向けて「相続セミナー」を開催しました。「もしも」に備える!相続対策の基本」をテーマに講師を招いて、遺言書の基礎知識や認知症になる前の相続対策等を学んでいただきました。

### セミナーについて

開催日 2024年12月12日(松尾支店)、20日(本店) 参加者数 63人

※その他の店舗については、20日にリモート開催しました。

講師 一般社団法人公益相続支援センター京滋 川嶋侑平 様

### 内容

本セミナーでは、相続の基本から実際の手続きまでを解説しました。特に関心が高かったテーマは以下の通りです。

- 1 遺言の基礎知識や重要性
- 2 遺言作成の3つのポイント
- 3 認知症になる前の相続対策
- 4 相続登記の義務化について

講師による分かりやすい説明のほか、具体的な事例を交えた解説が行われ、参加者の皆さまも熱心に耳を傾けていました。



### 参加者の声

相続について漠然とした不安がありましたが、基礎から学べてよかったです。



具体的な事例を交えて説明してもらえたので、イメージしやすかったです。



遺言書の重要性がよくわかった。早めに準備しようと思う。



## 2024年度確定申告の受付



▲2月6日に川岡支店で行われた確定申告の受付の様子

資産管理課では、各支店で確定申告の受付を行っています。JAの顧問税理士等を各支店に派遣し、組合員等の確定申告をサポートしています。本年度は300人を超える受付を行いました。

### 確定申告とは

1月1日から12月31日の1年間における所得について申告することです。各種所得の合計額をもとに納めるべき所得税の金額を掲載して、税務署に正しく申告・納税するための制度です。税金を正しく納付するのみならず、払いすぎた分を還付金として返してもらうための手続きです。

### ● 資産管理課から皆さまへ

資産管理課では、資産管理移動相談会、法律個人相談会等の個別での相談会も実施しております。

相続は「事前の準備」が大切です。これを機に、ご家族と話し合い、将来に向けた対策を始めてみませんか?

お問い合わせ先は 営農経済部資産管理課まで TEL:075-313-2059



担当者 坂本 竜也(資産管理課)

## 京都ハンナリーズと京都光華女子大学とのコラボメニューを開発!

～試合会場でGAP承認農産物を使用した2品を販売～

当JAはバスケットボールBリーグ1部に所属する京都ハンナリーズと京都光華女子大学とコラボして学生考案のオリジナルメニューを開発しました。

考案したのは同大学の健康栄養学科(健康スポーツ栄養専攻)の学生たちで、「京豆乳のクラムチャウダー」と「京風ミネストローネ」の2品で栄養バランスを考慮しながら、健康的で美味しいスープを開発いただきました。当JAはJA京都市版GAP承認者に協力いただき大根やハクサイなどメニューで使用する食材を提供しました。

メニューは2月1日と2日にかたおかアリーナで開催された京都ハンナリーズのホームゲーム会場にて当日限定で販売され、来場者に温かい味わいを提供しました。さらに、購入者には、京都ハンナリーズのマスコットキャラクター「はんチャリン」のステッカーが配布され、そこにはJA京都市のロゴも入れていただきました。

当JAは食材提供という形でサポートし、GAP制度の周知につなげました。また、スポーツチーム、大学との連携によって、地元の魅力を活かした取り組みに協力しました。



▲メニューは京都ハンナリーズのホームゲーム会場で販売しました



▲学生たちによる当日限定メニューを販売しました



▲購入者には当日限定のステッカーをプレゼント!



▲メニューの食材にはJA京都市版GAP承認農産物を使用していただきました

## 光華イキイキ朝市開催

～市内中心部でGAP承認農産物を販売～

1月11日、京都光華女子大学の富小路まちやキャンパスで「光華イキイキ朝市」を開き、当JAはJA京都市版GAP承認農産物を販売しました。

今回はGAP承認者から九条ねぎ、金時人参、トマトなど計120点を出品いただき、同大学の学生団体光華リエゾンクラブ「い光華(こうか)万博プロジェクト」の学生たちとともに販売しました。

本年度は7月と10月と1月の計3回開催し、当JAは共催として旬で安心・安全なGAP承認農産物を販売しました。また、来場者の大半が近隣住民でありGAPのチラシやLinkなどを配布し、JAに馴染みのない方にJAの事業やJAが取り組む活動を周知することができました。



▲京都光華女子大学の学生とともにGAP承認農産物を販売



▲今年度は3回開催。GAP制度だけでなく、JA京都市の知名度UPに繋がりました

# たき火火災にご注意を



乾燥しやすいこの時期は、たき火による火災が増加する傾向にあります。  
 畑内等で焼却を行う場合は、次のことに注意しましょう！

**注意事項1** 消火の準備をしましょう

**注意事項2** 一度に燃やさず、  
 少しずつ燃やしましょう

**注意事項3** その場から  
 離れないようにしましょう

**注意事項4** たき火が終われば、  
 確実に消火しましょう

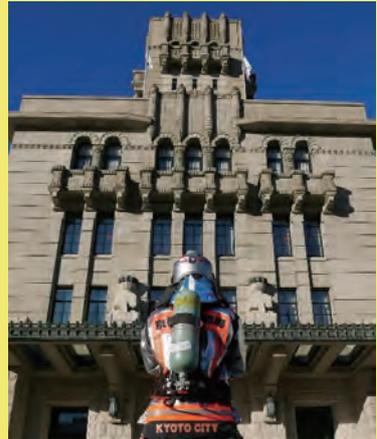
**注意事項5** 風が強いときや  
 乾燥しているときは、  
 たき火をしないようにしましょう



京都市消防局 公式キャラクター  
 北山 駆



京都市消防局 公式キャラクター  
 二条 葵



火災と紛らわしい煙を発生する行為をする場合は、事前に消防署への届け出が必要です。  
 詳しくはお近くの消防署へお問合せください。※消防署は、たき火(焼却行為)を許可するわけではありません。



京都市消防局  
 KYOTO CITY FIRE DEPARTMENT

## 京都市消防団 公式LINE



## 消防団員 募集中!!

ご興味のある方は  
 お近くの消防署にお問い合わせ  
 いただくか二次元コードから  
 「おともだち登録」をお願いします。



### お問合せ先



### 京都市消防局 消防団・自主防災推進室

〒604-0931京都市中京区榎木町450-2 (TEL:075-212-6619)

- |         |                  |         |                  |
|---------|------------------|---------|------------------|
| ・北 消防署  | TEL 075-491-4148 | ・上京 消防署 | TEL 075-431-1371 |
| ・左京 消防署 | TEL 075-723-0119 | ・中京 消防署 | TEL 075-841-6333 |
| ・東山 消防署 | TEL 075-541-0191 | ・山科 消防署 | TEL 075-592-9755 |
| ・下京 消防署 | TEL 075-361-4411 | ・南 消防署  | TEL 075-681-0711 |
| ・右京 消防署 | TEL 075-871-0119 | ・西京 消防署 | TEL 075-392-6071 |
| ・伏見 消防署 | TEL 075-641-5355 |         |                  |

## 新人フォローアップ研修会開催

1月30日と31日、新人フォローアップ研修会を当JA本店で実施しました。

研修会は1年間の振り返りと今後の成長につなげようと1年目の職員を対象に毎年開催しており、本年度は14人が参加しました。

1日目は外部講師を招き、「ムビケーショーン」と呼ばれる映像を用いた学習に取り組みました。実際の業務シーンを再現した映像を視聴し意見交換しました。そして、2日目にはJA事業について学習しました。新入職員は「JAの役割を改めて学ぶことができ、これを今後の業務に活かしていきたい」と意気込みを語っていました。

## JAインスタコンテスト入賞のお知らせ

JA全中は10月と11月にかけて「令和6年度JAインスタコンテスト」を実施し、当JAの投稿が写真部門で入賞いたしました。

コンテストは「Instagramで農・食・JAの魅力伝える」がテーマで写真部門と動画部門が設けられました。入賞に選ばれたのは、大枝支部の松木照男さんを紹介した投稿で、その理由について審査員から「収穫作業に取り組む農家さんの真剣なまなざしがかっこいい」という評価をいただきました。

今回の受賞を励みに、今後も皆さまに役立つ情報や、JAならではの魅力をお届けしていきます。

ぜひ、これからもJAのInstagramをチェックしてください！



▲講師と1年間の仕事ぶりについて振り返った新入職員たち



#JAインスタコンテスト #入賞  
#地域の魅力発信  
#これからもよろしくお願いします

## 3・4月の行事予定

### 3月

- 1日(土) 第12回府内JA一斉クリーンウォーク
- 3日(月) 廃棄農薬回収【本店】
- 5日(水) 女性のつとめと家の光大会【京都テルサ】
- 11日(火) 若年農業者との意見交換会【都ホテル京都八条】
- 14日(金) JA京都市GAP審査委員会【本店】

### 4月

- 1日(火) 入組式【本店】
- 17日(木) 青壮年部地区役員会議【本店】
- 18日(金) 女性部地区役員会議【本店】

※現時点での予定ですので、変更となる場合があります。

## 農機センターからのお知らせ 利用者の皆さまへ

### 農機をレンタルする際のお願い

農機センターでは、農機レンタル事業に取り組んでいます。しかしながら、レンタル時や返却時のトラブルも発生していることから、今回は実際に発生している事案と注意点についてご紹介します。

- ① ウッドチップパーの使用時に、ロープや泥など木材以外の物が混入されているケースが見受けられます。  
→ウッドチップパーに規定されている物以外は投入しないでください。

入れてはいけない例 直径15cm以上の木材、湿った木材、つる状の作物、金属類、プラスチック類、ビニール類、ロープ、砂・泥、結束ひも、針金

- ② ウッドチップパーを軽トラックでレンタルする方がいらっしゃいます。  
→軽トラックの最大積載量が350kgに対し、ウッドチップパーの重量は455kg以上あり、積載不可となっています。事故のリスクも非常に高いので、今後軽トラックでお越しの際はレンタルをお断りさせていただきます。ご了承のほどお願いいたします。

皆さまに安全・快適にご利用いただくため、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

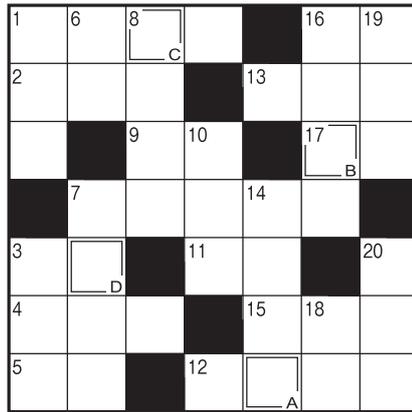
お問い合わせ：営農経済部農機センターまで 075-391-4193

# クロスワードパズル

二重マスの文字を A~D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

## タテのカギ

- ① ——造って魂入れず
- ③ ニワトリの頭についています
- ⑥ エックスの次です
- ⑦ 赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧ 卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- ⑩ 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑭ 地球を暖める天体
- ⑯ ひな祭りのお吸い物につきもの貝
- ⑰ ひな祭りに飾る花
- ⑲ 春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳ 細川たかしのヒット曲「——の渡し」

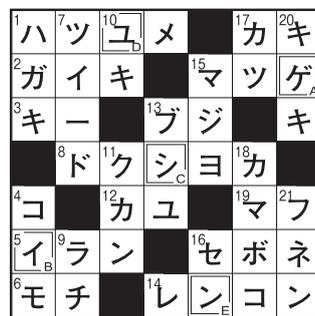


出題○ニコリ

**【解き方】**  
普通のクロスワードの要領で全部を解いてください。次に A→D の二重マスの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

## ヨコのカギ

- ① 3月14日は——デー。  
バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ② お手洗いとみいします
- ③ バレーボールのセッターが上げるもの
- ④ 梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤ 日本一長いものは367kmあります
- ⑦ イソップ—— 源氏——
- ⑨ 失敗は成功の——
- ⑪ 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫ 羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬ 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮ 草餅によく使われる植物
- ⑯ お彼岸に参る人も多いところ
- ⑰ 弾力がある、噛んで食べる菓子



『いっぷく』1月号の答え  
「ゲイシユン」

正解者の中から  
抽選で10名の方に  
図書カードを  
プレゼント!

## プレゼントの応募方法

- (1) 郵便はがきまたはメールに、【○クイズの答え○住所○氏名○年齢○電話番号○ご意見・ご感想】をお書きください。
- (2) 〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24  
JA京都市 総務企画部地域振興課「いっぷく」係まで、お送りください。  
メールアドレス:tiiki@ja-kyotocity.or.jp  
※応募いただきました皆さまの個人情報は、当選者のプレゼント発送のために利用させていただきます。

## おたより募集中!

おたよりや、イラスト(絵手紙)を募集中です。  
クイズと同じあて先まで、お送りください。  
お待ちしております。



締め切りは  
3月末日

解答は「いっぷく」5月号

## 今月の星占い ★モナ・カサンドラ★



- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>♈ 牡羊座</b><br/>3/21~4/19</p> <p>上昇運。迷っていたことに方向性を見いだせそう。やりたいことをリストアップすると吉。外出を増やして</p>     | <p><b>♉ 牡牛座</b><br/>4/20~5/20</p> <p>少しお人よしが過ぎてしまうようです。できないことまで引き受けられないように。用事を整理し、予定を立てて</p> | <p><b>♊ 双子座</b><br/>5/21~6/21</p> <p>手詰まりを感じていたことに活路を見いだせます。小まめに情報収集を。友人の意見を参考にするのもお勧めです</p>  |
| <p><b>♋ 蟹座</b><br/>6/22~7/22</p> <p>周囲からの支援が心強いとき。口うるさいと感じる助言にも聞いておくだけのメリットがあります。仕事優先で</p>    | <p><b>♌ 獅子座</b><br/>7/23~8/22</p> <p>面倒な相手ほど丁寧に接しましょう。経験談には今のあなたに役立つ話が入っているはず。旅行の計画にツキ</p>   | <p><b>♍ 乙女座</b><br/>8/23~9/22</p> <p>予想外の展開がありそう。かなりの追い風です。反発するより流れに乗るのが正解。臨機応変にチャンスを生かして</p> |
| <p><b>♎ 天秤座</b><br/>9/23~10/23</p> <p>やる事が多く忙しくなりがち。スケジュールの組み方で効率化を図れます。冷静に状況を整理しましょう</p>     | <p><b>♏ 蠍座</b><br/>10/24~11/22</p> <p>好調運。長年の苦勞が報われる出来事の予感です。新しいことを始めるのも吉。お花見に出かけましょう</p>    | <p><b>♐ 射手座</b><br/>11/23~12/21</p> <p>理不尽な状況に心を痛めることがあるかもしれません。運勢は下旬から上昇。様子を見て待つのも1つの手</p>   |
| <p><b>♑ 山羊座</b><br/>12/22~1/19</p> <p>スリリングな運気です。危ない場所には近寄らないで。周囲とコミュニケーションをよく取って誤解のないように</p> | <p><b>♒ 水瓶座</b><br/>1/20~2/18</p> <p>争いは避け調整を心がけて。平和的な手段を取ることであなたの株が上がります。近距離旅行にツキあり</p>     | <p><b>♓ 魚座</b><br/>2/19~3/20</p> <p>勢いがあります。ダメ元でやってみたこともなんとかなりそう。率先して動きましょう。行動的なほど開運</p>      |



# 京のこんだて

## 京都光華女子大学とのコラボ企画

## 第9弾!



京都光華女子大学  
京都光華女子大学大学院/京都光華女子大学短期大学部

管理栄養士を目指す学生がオススメするレシピ



## レシピ考案者

(健康栄養学科管理栄養士専攻有志)



ナッツの歯ごたえや黒こしょうの刺激が良いアクセントになります。

お好みでレシピより多めに加えてください!

## 金時人参とさつまいものサラダ



金時人参の甘さや色彩を活かしたレシピです!

### ●材料(2人分)

- 金時人参 ..... 150g
- さつまいも ..... 200g
- ゆで卵 ..... 1個
- ミックスナッツ ..... 10g程度  
(アーモンド、カシューナッツ、くるみなど)
- プレーンヨーグルト(無糖) ... 30g
- コンソメ顆粒 ..... 小さじ1
- はちみつ(砂糖でも可) ..... 10g
- 塩こしょう ..... 少々
- 黒こしょう ..... 適量
- 乾燥パセリ ..... 適量

### ●作り方

- ① 金時人参とさつまいもは洗った後、濡らしたキッチンペーパーに包んでから耐熱容器に載せる。容器にラップをして電子レンジで加熱する。爪楊枝をさして、すっと通る程度の硬さを目安にする。
- ② ①を電子レンジから取り出したら、熱いうちに皮ごと粗めにつぶす。
- ③ ミックスナッツを粗めに刻む。
- ④ ゆで卵、刻んだナッツ、黒こしょう以外の調味料を②に加えて混ぜる。黒こしょうとパセリを振りかけて完成。

### 金時人参を届けてくれた組合員



銭谷 裕志さん(上鳥羽支部)

JA京都市版GAP承認取得者

取組にご協力いただき誠にありがとうございました!



【レシピに関するお問い合わせはこちら】

京都光華女子大学 担当部署：地域連携推進センター 〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38 Tel：075-325-5473 Fax：075-314-4515 E-mail：chiiki@mail.koka.ac.jp

SNSでJA京都市とつながろう!!

LINE公式アカウント

ID名：  
@ja\_kyotoshi



instagram  
アカウント名：  
ja\_kyotoshi



facebook  
アカウント名：  
JA京都市



YouTube

「京香ちゃんネル」



JA京都市  
公式アプリ



営農タイムリー  
登録



いっふく

Vol.289 | 2025年3月1日発行

編集・発行/ JA京都市(京都市農業協同組合)総務企画部地域振興課  
〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24 TEL(075)314-0898

<https://ja-kyotocity.or.jp>

